

生物多様性総合評価報告書案に関する論点

論点 1 評価結果案について

本報告書では、評価結果案、すなわち評価の結論にあたる損失の要因や状態等の判断を「色の濃さ」と「矢印」によるアイコンによって表現することとしている。この一つ一つについて具体的な「色の濃さ」と「矢印の向き」をいかにするか、本日のご議論で一応の結論を得たい。

評価の考え方 →資料 2 - 2 - 1

○骨子案のようにイメージを示しただけでは合理的な検討できないことから、アイコンの評価の考え方を整理した。

○ご確認をいただき、評価作業の前に認識を共有としたい。

評価結果案（指標） →資料 2 - 2 - 2

○第Ⅱ章「要因の評価」と第Ⅲ章「状態の評価」における 30 の指標ごとに、「色の濃さ」と「矢印」による評価を行う必要がある。

○報告書とデータ例の各部をご参照の上、事務局案をたたき台にしてご議論をいただきたい。

評価結果案（総括） →資料 2 - 2 - 3

○新たに設けた第Ⅳ章「総括」の冒頭において、「要因」「状態」と「生態系」とのマトリクスを置くこととし、ここでも「色の濃さ」と「矢印」による評価を行っている。

○資料 2 - 2 - 2 または報告書とデータ例の各部をご参照の上、事務局案をたたき台にしてご議論をいただきたい。

論点 2 第Ⅳ章「総括」の骨子と第Ⅴ章「今後の課題」の骨子について

第 1 回検討会でのご指摘に応じて、これらの章を新たに設け、骨子を作成した。これらについて、記述の内容、記述の流れなどについてご意見をいただき、具体的に書き込む事例等についてご指導をいただきたい。

第Ⅳ章総括の骨子 →資料 2 - 3 - 1

○第Ⅱ章・第Ⅲ章の総括、生態系サービス、2010 年目標の評価、将来の損失と対策の方向を収録している。

○全般にわたりご指導をいただきたいが、特に、生態系サービスの事例と「転換点」となりうる損失の例についてご教示いただきたい。

第Ⅴ章今後の課題の骨子 →資料 2 - 3 - 2

○今後の総合評価の役割を想定して、今回足りなかった課題の方向性を示している。

○全般にわたりご指導をいただきたい。